

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト縮減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
						目標年	用地費	進捗率					
海岸事業	19	五ヶ所港海岸環境整備	南伊勢町		【全体事業概要】 護岸:L= 320m 突堤:L= 245m 離岸堤:L= 163m 人工海浜:V=42,020m ³ 遊歩道:V= 5,000m ² (埋立含む) 植栽:A= 1,660m ²	H 8	1,474	74.2%	護岸 91.0% 突堤 100.0% 潜堤 51.2% 人工海浜 59.5% 遊歩道、植栽 51.0%	海水浴場の利用者人口は年々減少傾向となつていますが、依然として多く人が利用している。 当事業の海水浴場は単独で存在するのではなく、海洋性レクリエーションの1つのメニューとして、他レクリエーションとの相乗効果を発揮することで、今後も利用者を確保できると考えています。	【費用便益費】 B / C = 1.78 【コスト縮減】 他事業の建設発生土を流用することにより工事費約300万円の縮減を図っている。 また、養浜量及び利便施設を見直すことにより579百万円縮減している。 【代替案の検討】 当事業を南伊勢町(旧南勢町)で実施することは妥当と考えております。	養浜や利便施設の規模やグレードを見直し、コスト縮減を図り、早期に事業効果が発現出来るよう努めてまいりたい。	審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、次の点について意見を付するものである。 一、当事業は、当初計画時点において類似海岸の利用状況や水質の変化予測及び糾合性を踏まえた利用者予測などが行われておらず、事業の効果予測が欠けていたと思われる。したがって、今後、新たに同種事業の計画をされる場合は、事業完了後のマイナスの効果も予測してそれを回避するような計画に努められたい。 一、事業後、効果を発揮し続けられるように事業中に地元自治体、地元住民と事業後の管理運営システム(清掃、イベントなど)の構築をされたい。
						H 20	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
地域水産物供給基盤整備事業	106	相差	鳥羽市		<p>【全体事業概要】 外郭施設 西防波堤 L=30m 沖防波堤 L=120m 護岸 L=60m 水域施設 - 3m泊地 A=2,800m² 係留施設 - 3m岸壁 L=60m 船揚場 L=30m 輸送施設 道路 L=455m 漁港施設用地 用地 A = 2,400m²</p>	H6	1,438	82.0%	外郭施設 西防波堤L=30m 沖防波堤L=87m 護岸L=60m 水域施設 - 3m泊地 A=2,800m ² 係留施設 - 3m岸壁L=60m 輸送施設 道路L=455m 漁港施設用地 用地A=2,400m ²	<p>【全体計画の変更】 H14年度漁港法の改正に伴い事業費の見直しをおこなったところ総事業費1,678百万円から1,438百万円に全体計画を変更しました。</p>	<p>費用便益比 B/C = 1.4</p> <p>コスト削減 用地埋立土に、床掘・浚渫残土を流用しました。 用地埋立土に、他事業で発生した残土を流用しました。 舗装材・基礎材に再生材を使用しました。</p> <p>代替案の検討 沖防波堤は、静穏度解析等により工法・延長及び航路幅を決定しています。また、船揚場についても当漁港の漁船数から必要であり現計画が妥当であると考えています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し現時点での進捗率は82%となっています。 H20年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、事業規模の客観的な適正さと財政的事情に関する説明が混在していた。したがって、今後、このような事業の場合は両者を明確に区別して説明されるよう求めるものである。</p>
						H20							